

Ⅲ. 資料

使用した調査票

令和6年度 県政世論調査 ～調査ご協力のお願い～

日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、山口県では、県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、県政に関するアンケート調査「県政世論調査」を実施しております。

本年度は、あなた様を対象に選ばせていただきましたので、どうぞ、率直なお考えやご意見をお聞かせください。

ご回答は無記名としており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、今後の県政運営の基礎資料とさせていただきますので、なにとぞ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年6月

山口県 総合企画部 広報広聴課

ご回答にあたってのお願い

- ◇ 回答は、お送りした封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
- ◇ 次ページ以降の各質問について、あてはまる番号を ○ で囲んでください。
- ◇ 「その他」を選ばれた場合は、() 内に具体的に記入してください。
- ◇ 7月1日(月)までに、次のいずれかの方法でご回答をお願いします。

・本調査票で回答

同封の返信用封筒に調査票を入れて、ポストに投函してください。

・インターネットで回答

① 回答用Webページを開く。

アドレスを入力するか、二次元バーコードを読み取り、Webページに接続する。

●アドレス

<https://ssforms.jp/yamaguchir6>

●二次元バーコード



② 「回答用ID」と「パスワード」を入力し、ログインする。

●回答用ID

●パスワード

③ 画面の案内に沿って回答する。

(インターネットで回答された場合は、調査票を返送する必要はありません。)

※ 調査票にあなたのご氏名等を記入される必要はありません。

※ インターネットで回答しても、あなたのご氏名等は特定されません。

この調査についてご不明な点や疑問点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施主体】 山口県総合企画部広報広聴課 広聴企画班 TEL 083-933-2560

【調査実施機関】 株式会社東京商工リサーチ 山口支店 TEL 0834-22-1060

最初に、生活全般や政治・経済への関心度についておたずねします。

Q 1-1 今のお宅の暮らし向きは、2～3年前に比べて・・・ (○は1つ)

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない 4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

その理由をお書きください ()

Q 1-2 今のお宅の暮らし向きにあなたは・・・ (○は1つ)

1. 満 足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不 満

その理由をお書きください ()

Q 1-3 これからのお宅の生活の見通しは・・・ (○は1つ)

1. 明るい 2. やや明るい 3. やや暗い 4. 暗 い

その理由をお書きください ()

Q 2 あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。(○はそれぞれ1つ)

	大変 関心がある	関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
(1) 国の政治・経済	1	2	3	4
(2) 県の政治・経済	1	2	3	4
(3) 市町の政治・経済	1	2	3	4

県の行っている広報についておたずねします。

Q 3-1 あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 県広報誌「ふれあい山口」
2. 県政テレビ放送
3. 県政ラジオ放送
4. 県からの新聞広告
5. 県のホームページ
6. 県のソーシャルメディア(フェイスブック等) | 7. 県が発行する各種パンフレット・チラシ
8. デジタルサイネージ
9. 新聞報道
10. テレビ報道
11. ラジオ放送
12. 市町広報紙
13. その他 () |
|---|--|

Q 3-2 県全世帯に配布している県広報誌「ふれあい山口」を読んだことがありますか。(○は1つ)

1. 読んでいる 2. ざっと目を通している 3. あることは知っているが 4. 知らない
読んでいない



→ Q 3-4へ

Q 3-3 「ふれあい山口」の情報量及び読みやすさについておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

(1) 発行回数 季刊発行(年4回)	1. 多すぎる 2. 多い	3. ちょうど よい	4. 少ない	5. 少なすぎる
(2) 各号の情報量 年4回: 8ページ	1. 多すぎる 2. 多い	3. ちょうど よい	4. 少ない	5. 少なすぎる

(3) 誌面の読みやすさ	1. 読みやすい	2. どちらかといえ ば読みやすい	3. どちらともいえない	4. どちらかといえ ば読みにくい	5. 読みにくい
--------------	----------	----------------------	--------------	----------------------	----------

Q3-4 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

(1) 次の番組を視聴(または聴取)されたことがありますか。1、2、3から選んでください。

(2) 視聴(または聴取)されたことがある場合は、その番組の印象をア、イ、ウから選んでください。

		毎回ほとんど見て(聴いて)いる	見た(聴いた)ことがある	ほとんど見た(聴いた)ことはない	大変好感が持てる	好感が持てる	好感がない
テレビ	「元気創出!やまぐち」[KRY 山口放送] 毎週日曜日 11:10~11:25	1	2	3	ア	イ	ウ
	「大好き!やまぐち」[TYS テレビ山口] 毎週土曜日 18:50~18:55	1	2	3	ア	イ	ウ
	「イキイキ!山口」[YAB 山口朝日放送] 毎週月曜日 23:10~23:15	1	2	3	ア	イ	ウ
ラジオ	「ワンポイント県政」[KRY 山口放送] 毎週水曜日 13:35~13:40	1	2	3	ア	イ	ウ
	「FM県民ダイアリー」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 18:10~18:15	1	2	3	ア	イ	ウ
	「情報BOXやまぐち」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 7:38~7:39	1	2	3	ア	イ	ウ

Q3-5 県では、本県の多彩な魅力や施策等の情報を、SNS等も活用し、ターゲットとなる方々に着実に届ける広報を展開しています。あなたは、このことをご存じですか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

県の取組に対する実感についておたずねします。

山口県では、県づくりの基本目標である「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現に向けて、さまざまな取組を進めています。ついては、取組の参考としますので、次の問いにお答えください。

Q4-1 あなたにとって、山口県は住みよい県だと思いますか。(○は1つ)

1. 住みよい県だと思う	3. どちらかといえば住みよい県とは思わない
2. どちらかといえば住みよい県だと思う	4. 住みよい県とは思わない

Q4-2 あなたは、山口県にこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. これからも住み続けたい	3. 機会があれば県外に移りたい
2. 可能な限りこれからも住み続けたい	4. 県外に移りたい

Q4-3 「やまぐち未来維新プラン」では20のプロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しています。これに関する県の取組について、あなたの実感についておたずねします。

(○はそれぞれ1つつ)

【1】産業維新		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない
		1	2	3	4	5
1 新たな価値を創造する産業DXプロジェクト						
①	デジタル技術を活用した県内企業の新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
2 未来へ挑戦するグリーン成長プロジェクト						
②	産業分野において脱炭素化に向けた取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
③	今後、発展が期待できる、水素等環境・エネルギーや医薬品などに関連した産業の育成や集積が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
3 時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト						
④	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
⑤	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
4 中堅・中小企業の「底力」発揮プロジェクト						
⑥	中堅・中小企業に対する成長支援や人材育成などの取組の強化が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
5 強い農林水産業育成プロジェクト						
⑦	農林水産物の地産・地消や6次産業化、担い手への支援など、農林水産業を振興するための取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

【2】大交流維新		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない
		1	2	3	4	5
6 交流拡大による活力創出プロジェクト						
⑧	新幹線や航空便の利便性や観光地等へのアクセスなど、交通ネットワークの充実が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
⑨	山口きらら博記念公園における、イベントなどを通じた交流拡大の取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
7 新たな観光県やまぐち創造プロジェクト						
⑩	国内外からの観光客や来県者を増加させる取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

		そう思う	どちらか と い え ば そ う 思 う	どちら と も い え な い	どちらか と い え ば そ う は 思 わ な い	そうは 思 わ な い
8 国内外での市場拡大プロジェクト						
⑪	大都市圏へ農林水産物などの県産品を売り込むための取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
⑫	中小企業の海外での事業展開や農林水産物などの海外輸出を促進するための取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
9 新たな人の流れ創出・拡大プロジェクト						
⑬	県外からの移住者を増やすための取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

【3】生活維新		そう思う	どちらか と い え ば そ う 思 う	どちら と も い え な い	どちらか と い え ば そ う は 思 わ な い	そうは 思 わ な い
10 結婚、妊娠・出産、子育て応援プロジェクト						
⑭	結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
11 「やまぐち働き方改革」推進プロジェクト						
⑮	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組など、誰もが働きやすい職場環境づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
12 次代につなげる持続可能な社会づくり推進プロジェクト						
⑯	住宅への太陽光発電の導入や省エネ性能に優れた住宅の普及など、暮らしに密着した脱炭素化の取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
⑰	廃棄物のリサイクルの推進など、環境にやさしい地域づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
13 豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト						
⑱	暮らしを支える生活道路の整備や都市公園の利活用など、快適な生活環境づくりの取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
⑲	行政手続のオンライン化など、デジタルによって社会や暮らしを便利にするための取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
14 新たな時代の人づくり推進プロジェクト						
⑳	山口県の将来を担う子ども・若者を育成する取組や教育環境の充実が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちら ともい えない	どちらか といえば そう は思わ ない	そうは 思わな い
15 誰もがいきいきと輝く地域社会実現プロジェクト						
⑳	ボランティア活動やスポーツ・文化活動などで、誰もが活躍できる社会づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
㉑	一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。	1	2	3	4	5
㉒	男女共同参画・ジェンダー平等の実現に向けた取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
16 安心を支える医療と介護の充実・強化プロジェクト						
㉓	医療や介護のサービスを受けられる体制が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
17 生涯を通じた健康づくり推進プロジェクト						
㉔	生活習慣病の予防など、健康づくりに向けた対策が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
18 災害に強い県づくり推進プロジェクト						
㉕	大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
19 暮らしの安心・安全確保プロジェクト						
㉖	食品の検査や消費生活センターにおける相談対応など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
㉗	犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
20 人口減少を克服する地域づくり推進プロジェクト						
㉘	快適で暮らしやすい住環境づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
㉙	中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちら ともい えない	どちらか といえば そう は思わ ない	そうは 思わな い
【4】行財政基盤の強化						
㉚	効率的で健全な行財政運営を行い、将来にわたって持続可能な行財政基盤の確立に向けた取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

Q4-4 今後の県づくりを進めていく上で、県が重視すべき事項等についてのご意見があれば、その内容を記述してください。

その他、県が取組を進めている16項目についておたずねします。

1 デジタル化について

Q5-1 あなたのインターネットの活用状況について教えてください。(○は1つ)

1. インターネットを活用している 2. インターネットを活用していない



「1.」と回答された方。使用している機器は何か教えてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|---------------------|------------|
| 1. パソコン | 4. ウェアラブル端末 | 7. 家庭用ゲーム機 |
| 2. スマートフォン | 5. 携帯電話(スマートフォンを除く) | 8. その他 |
| 3. タブレット端末 | 6. テレビ | |

Q5-2 あなたは、申請・届出等の行政手続をオンライン(ワクチン接種予約やマイナポータルなどの各種申請システム・電子メール等)で手続したことがありますか。(○は1つ)

1. オンラインで手続したことがある → Q5-3へ

2. オンラインで手続したことはないが、してみたい
3. 手続がまだオンライン化されていないため、できない
4. オンラインで手続ができることを知らなかった
5. パソコンやスマホを持っていない(使えない)ため、できなかった
6. 関心がなく、今後もオンラインで手続をしない

→ Q5-4へ

Q5-3 オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについて、どの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 満足している | 4. どちらかといえば不満である |
| 2. どちらかといえば満足している | 5. 不満である |
| 3. どちらともいえない | |

Q5-4 あなたは、オンラインでの手続を促進するために、何が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 手続を行うための入口のわかりやすさ | 7. 手続の処理状況が確認できること |
| 2. 手続の際の操作方法のわかりやすさ | 8. 手続がオンラインのみで完結すること |
| 3. 個人情報保護などのセキュリティ対策 | 9. 手続に関する相談窓口の設置 |
| 4. オンラインで行える手続の拡充 | 10. オンラインで手続をするための環境 |
| 5. オンラインで行える手続の周知 | 11. その他() |
| 6. 手続から許可等までの処理の迅速化 | 12. 特にない |

Q5-5 あなたは、どのような分野において、デジタル技術の活用で便利になったと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. ショッピング | 6. 行政手続 | 11. 農林水産業 |
| 2. 教育・学習支援 | 7. ものづくり | 12. 結婚・子育て |
| 3. 医療・介護 | 8. 暮らしの安全・防犯 | 13. その他 |
| 4. 働き方・オフィス環境 | 9. 建設業・インフラ管理 | 14. 特にない |
| 5. 観光・交通 | 10. 産業人材確保・育成 | |

Q5-6 本県でデジタル化が進むためには、どのような取組が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. デジタルが苦手な方へのサポート
(デジタルデバйд対策) | 6. デジタル教育の推進、デジタル人材の育成 |
| 2. 情報セキュリティの確保 | 7. デジタル化に取り組む企業等への支援 |
| 3. 行政手続のオンライン化 | 8. データのオープン化と利活用の促進 |
| 4. 情報通信環境の整備・拡充 | 9. その他 |
| 5. マイナンバーカードの普及・活用 | 10. 特にない |

2 防災・減災対策について

Q6-1 あなたの家庭では、台風や地震などの災害に備え、どのような防災対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など、非常持出品を準備している | 5. ハザードマップで危険箇所を確認している |
| 2. 食料や飲料水を備蓄している | 6. 避難場所や避難経路を確認し、決めている |
| 3. 家具などを固定化し、転倒防止を図っている | 7. 家族との連絡方法・待ち合わせ場所を決めている |
| 4. 防災情報を入手するため、防災メールやSNSなどに登録している | 8. その他() |
| | 9. 特に対策をとっていない |

Q6-2 あなたは、過去1年間に、お住まいの地域や職場などでの防災活動(「シェイクアウト訓練」、防災訓練、研修・講演などへの参加)に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

※「シェイクアウト訓練」とは、合図に併せ、「DROP!(まず低く!)」、「COVER!(頭を守り!)」、「HOLD ON!(動かない!)」

の三つの行動をとる訓練のことをいう。

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1. 防災訓練(シェイクアウト訓練を含む)に参加した | 3. その他() |
| 2. 研修・講演会等に参加した | 4. 参加していない |

3 消費生活に関することについて

Q7-1 あなたは、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘により契約を締結してしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 市町や消費生活センターなど行政機関の相談窓口 | 8. 近所の人 |
| 2. 警察 | 9. 民生委員、ホームヘルパーなど |
| 3. 弁護士、司法書士などの専門家や法テラス | 10. その他() |
| 4. 消費者団体 | 11. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 5. 同居している家族・親族 | 12. 誰かに相談しようとは思わない |
| 6. 同居していない家族・親族 | 13. わからない |
| 7. 友人、同僚など | |

4 犯罪被害者等支援について

Q8-1 あなたが犯罪被害に遭ってしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 県や市町などの行政機関 | 6. 友人や会社の上司、同僚等 |
| 2. 警察等の捜査機関 | 7. その他 () |
| 3. 民間の支援団体 (民間犯罪被害者等支援団体) | 8. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 4. 弁護士や法テラス | 9. 相談しない |
| 5. 家族、親族 | |

Q8-2 あなたは、犯罪被害に遭われた方やその家族又は遺族が「二次的被害」により苦しんでいる実情があることを知っていますか。(〇は1つ)

※「二次的被害」とは、犯罪等による直接的な被害を受けた後に、犯罪被害者等に対する配慮に欠ける言動、誹謗中傷、過剰な取材等により、犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、名誉の毀損、私生活の平穩の侵害、経済的な損失その他の被害をいう。

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 身近な人が苦しんでいたのを知っている | 3. 知らない |
| 2. 苦しんでいる人がいることを聞いたことがある | |

Q8-3 あなたは、次の犯罪被害者等支援に関するものを知っていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 「犯罪被害者等基本法」という法律があること |
| 2. 「山口県犯罪被害者等支援条例」という条例があること |
| 3. 県に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること |
| 4. 県内の全ての市町に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること |
| 5. 県が犯罪被害者等支援に関するイベントを開催していること |
| 6. どれも知らない |

5 人権について

Q9-1 県では、「山口県人権推進指針」を策定し、人権に関する諸施策を総合的に推進しています。あなたは、この「山口県人権推進指針」を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1. 知っていて内容もよく理解している | |
| 2. 知っていて内容もある程度は (少しは) 理解している | → Q9-2へ |
| 3. 知っているが内容はよく理解していない | |
| 4. 知らない | → Q10-1へ |

Q9-2 それは、何を通じてお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 講演会・研修会・学習会等 | 4. 県・市町のホームページ |
| 2. 県・市町のイベント | 5. 県・市町の広報紙 |
| 3. 公共施設などの展示コーナー | 6. その他 () |

6 性の多様性について

Q10-1 県では、性の多様性を認め合う意識の醸成を図るため、啓発活動に取り組んでいます。あなたは、LGBT等の方が、日常生活を営む上で直面している課題・困難は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

※「LGBT」とは、レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（身体の性と心の性が一致しないため、身体の性に違和感を持つ人）の頭文字を組み合わせた言葉で、性的マイノリティーを表す言葉の一つとして使われることもある。

- | | |
|---|--|
| 1 教育（学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール、いじめなど） | 5 民間サービス（宿泊施設・店舗等の利用拒否、家族割引、生命保険の受取など） |
| 2 就労（採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度など） | 6 死別（パートナーの葬儀への出席、遺産相続など） |
| 3 住宅（賃貸住宅の入居拒否など） | 7 差別的言動を受けること（じろじろ見られる、SNS等の書き込みなど） |
| 4 医療（パートナーの手術の同意、安否情報の提供、看護など） | 8 その他（ ） |
| | 9 特に課題はないと思う |

Q10-2 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組を選んでください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 県民への広報・啓発（ホームページ、リーフレット） | 6 相談窓口の設置 |
| 2 企業・事業者への啓発（企業向け手引きの提供など） | 7 申請書類等の性別記載欄の表記への配慮 |
| 3 県民向け講座の開催 | 8 多目的トイレにおける「どなたでも利用できます」表示 |
| 4 性の多様性を理解するための学校教育 | 9 パートナーシップ制度の実施 |
| 5 行政職員や教職員等への研修の実施 | 10 特に必要な取組はない |
| | 11 その他（ ） |

7 食の安心・安全について

Q11-1 あなたは、日常の生活で食品に不安をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 非常に不安 | 2. 少し不安 | 3. 不安はない |
|----------|---------|----------|

Q11-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。(〇はそれぞれ1つ)

	非常に不安	少し不安	不安はない	わからない
1. 細菌やウイルスなどによる食中毒	1	2	3	4
2. 農産物への農薬等の残留	1	2	3	4
3. 食品添加物の安全性	1	2	3	4
4. 輸入食品の安全性	1	2	3	4
5. 食品の産地表示の信頼性	1	2	3	4
6. 食品の期限表示の信頼性	1	2	3	4
7. アレルギー物質の含有	1	2	3	4
8. BSE（牛海綿状脳症）	1	2	3	4
9. 遺伝子組換え食品の安全性	1	2	3	4
10. ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	1	2	3	4
11. 放射性物質による汚染	1	2	3	4

Q11-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

(1) 食品関連事業者に望む取組 (〇は3つまで)	
1. 施設の衛生管理の徹底	5. 施設見学や意見交換会の実施など、消費者との相互理解の推進
2. 食品の自主的な検査	6. その他 ()
3. 原産地や期限表示などの適正な表示の徹底	
4. 食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供	
(2) 消費者に必要な取組 (〇は3つまで)	
1. 食中毒予防に関する正しい情報の収集と知識の習得	4. 見た目や値段より安全性の重視
2. 食品添加物や残留農薬などに関する正しい情報の収集と知識の習得	5. 産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流
3. 食品表示制度の理解と購入時における確認	6. その他 ()
(3) 県に望む取組 (〇は2つまで)	
1. 生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底	4. 食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進
2. 流通食品に対する検査の徹底と結果の公表	5. その他 ()
3. 食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供	

8 生物多様性について

Q12-1 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(〇は1つ)

1. 言葉の意味を知っている	3. 聞いたことはない
2. 意味は知らないが言葉は聞いたことがある	4. わからない

※「生物多様性」とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

Q12-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 絶滅のおそれのある野生動植物の保護	7. 里地里山、里海の保全・再生
2. アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止	8. 森・里・川・海の一体的な保全・再生
3. 国定公園等の優れた自然環境の保全	9. 環境保全型農業など生物に配慮した農林水産業の振興
4. エコツアーや自然観察会等の自然とふれあう機会の提供	10. 産業活動や開発事業における野生生物や自然環境への配慮
5. イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策	11. 学校等での環境教育、環境学習の推進
6. 豊かな森林づくりの推進	12. 県民への生物多様性に関する普及啓発
	13. 特に必要ない

9 循環型社会づくりについて

※「循環型社会づくり」とは、大量生産・大量消費・大量廃棄を改め、廃棄物をなるべく出さず（リデュース）、使える物は繰り返し使い（リユース）、できるだけ資源として再利用し（リサイクル）（以下「3R」という。）、利用できない廃棄物は適正に処分することで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らす社会づくりのことをいいます。

Q13-1 家庭から出る家庭ごみをどのように出していますか。（○はそれぞれ1つ）

	出している	たまに出している	出していない
1. 生ごみは水切りをして出している	1	2	3
2. 牛乳パックやお菓子箱などの紙製の容器包装を分別して、古紙として出している	1	2	3
3. シャンプーの入れ物や食品トレーなどのプラスチック製の容器包装を分別して、プラスチック製容器包装の資源物として出している	1	2	3
4. 不要になった衣類を、市町やリサイクルショップに出している	1	2	3

Q13-2 あなたは、循環型社会づくりに向けた県の施策について、取組が浸透していると感じるものはどれですか。（○はそれぞれ1つ）

	感じる	どちらともいえない	感じない	知らない
1. 食材を無駄なく使う食品ロスの削減	1	2	3	4
2. マイバッグやマイボトル持参によるプラスチックごみの削減	1	2	3	4
3. 廃棄物の3Rに関する環境教育・環境学習	1	2	3	4
4. 海岸清掃などの海洋ごみ対策	1	2	3	4
5. 地域の環境保全活動や清掃美化活動への支援	1	2	3	4
6. 不法投棄ホットラインや休日・夜間不法投棄監視パトロールによる廃棄物の適正処理の推進	1	2	3	4

10 北朝鮮による拉致問題について

Q14-1 あなたは、「北朝鮮による拉致問題」について、どの程度関心をお持ちですか。（○は1つ）

1. 大いに関心がある	3. あまり関心がない
2. 少しは関心がある	4. 全く関心がない

Q14-2 「北朝鮮による拉致問題」の解決には、県のどのような取組が必要だと思いますか。

（○はいくつでも）

1. 県民世論を喚起するため、北朝鮮による拉致問題の周知を図る取組（パネル展示、マスメディアでの広報等）を積極的に行う	3. 政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う
2. 拉致被害者ご家族を支援する団体の活動（署名、募金等）に対して、積極的に協力する	4. 他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる
	5. その他（ ）

Q14-3 北朝鮮による拉致問題の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。
(○はいくつでも)

1. 北朝鮮による拉致問題に関する集会等の行事に参加する	4. 知人や友人に北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う
2. 街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する	5. ブルーリボンバッジを着用する
3. 街頭などで行われる署名や募金に応じる	6. その他 ()
	7. 特に協力は考えていない

11 薬剤師・薬局について

薬局の中には、薬について身近に相談できるかかりつけ薬剤師・薬局に加え、入退院などで療養環境が変わっても、医療機関等と薬の情報を共有して途切れることなく対応できる「地域連携薬局」や薬以外の健康に関する相談に応じる「健康サポート薬局」があります。

また、山口県独自の取組として、地域において薬学的な健康サポート*を行う「山口県健康エキスパート薬剤師」を登録・公表しています。

※「薬学的な健康サポート」とは、身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うことです。

Q15-1 これらの薬剤師・薬局に関する取組について知っていましたか。(○はそれぞれ1つ)

	よく知っている	少し知っている	言葉は聞いたことがあるが内容はよく知らない	この調査ではじめて知った
1. かかりつけ薬剤師・薬局	1	2	3	4
2. 地域連携薬局	1	2	3	4
3. 健康サポート薬局	1	2	3	4
4. 山口県健康エキスパート薬剤師	1	2	3	4

Q15-2 薬剤師・薬局に、健康に関して、薬以外のことでどのような内容を相談したいですか。
(○は3つまで)

1. 健康食品やサプリメントについて
2. 栄養など食生活について
3. 禁煙について
4. 筋トレ・ストレッチやドーピング防止など運動について
5. 不眠や生活リズムなど睡眠について
6. 血圧や血糖値など健康診断等の検査データについて
7. 肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて
8. 熱中症について
9. 生活習慣病やアレルギー、認知症など長期的な疾患について
10. 在宅医療や介護について
11. 消毒や害虫など生活衛生・環境衛生について
12. その他 ()

12 多文化共生について

Q16-1 あなたは、「多文化共生」（地域で暮らす外国人と日本人が互いを認め合い共に暮らしていくこと）、及び「やさしい日本語」（普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと）という言葉を知っていますか。（○はそれぞれ1つ）

《多文化共生》

1. 知っている 2. 意味は知らないが聞いたことはある 3. 知らない

《やさしい日本語》

1. 知っている 2. 意味は知らないが聞いたことはある 3. 知らない

Q16-2 あなたは、多文化共生の推進について、どう思いますか。（○は1つ）

1. 大変重要だと思う 2.それほど重要とは思わない 3. 重要ではない 4. わからない

Q16-3 日常生活において、あなた自身が外国人と関わることについてどう思いますか。（○は1つ）

1. 積極的に関わりたい 3. それほど関わりたいと思わない
2. 機会があれば関わりたい 4. わからない

13 運動・スポーツの実施状況について

Q17-1 あなたは、過去1年間に、どの程度、「運動・スポーツ(※)」を行いましたか。（○は1つ）

※「運動・スポーツ」とは、陸上競技・水泳・球技・武道等の他、ウインタースポーツ・マリンスポーツ・サイクリング・山登り・釣り等のアウトドアスポーツ、グラウンドゴルフ・ソフトバレー等のレクリエーションスポーツ、ウォーキングや軽い体操、運動を目的とした自転車や徒歩での通勤・通学等を含みます。

1. 週に3日以上（年150日を超える程度） 4. 3か月に1～2日程度（年4～11日程度）
2. 週に1～2日程度（年51～150日程度） 5. 年に1～3日程度
3. 月に1～3日程度（年12～50日程度） 6. 行わなかった →Q17-3へ

Q17-2 どのような「運動・スポーツ」を行いましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 競技スポーツ(球技以外)
（陸上競技、水泳等） | 6. マリンスポーツ（海でのスポーツ）
（ヨット、サーフィン、シーカヤック等） |
| 2. 球技（屋外）
（野球、テニス、ゴルフ等） | 7. アウトドアスポーツ（5、6を除く）
（サイクリング、山登り、釣り等） |
| 3. 球技（屋内）
（バレーボール、卓球等） | 8. レクリエーションスポーツ
（グラウンドゴルフ、ソフトバレー等） |
| 4. 武道
（柔道、剣道、空手、弓道等） | 9. トレーニング・健康づくり
（ウォーキング、ヨガ等） |
| 5. ウインタースポーツ
（スキー、スノーボード、スケート等） | 10. 自転車や徒歩での通勤・通学等（※運動目的） |

Q17-3 「運動・スポーツ」を行わなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------------------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が多忙 | 5. 仲間がいない | 9. 機会がない |
| 2. 体が弱い | 6. お金が掛かる | 10. その他（ ） |
| 3. 年を取った | 7. 場所や施設がない | 11. 特に理由はない |
| 4. スポーツは好きでない | 8. 指導者がいない | |

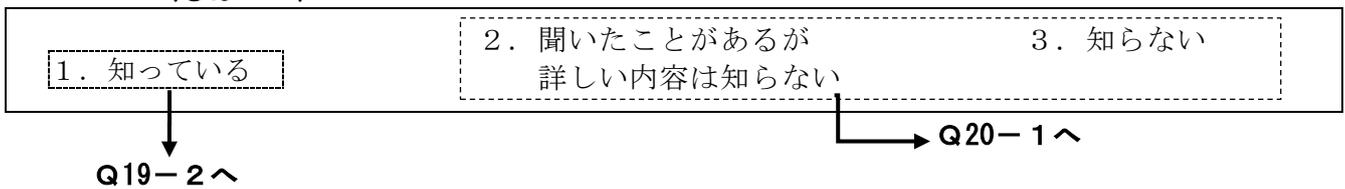
14 地産・地消の推進について

Q18-1 県内で生産された農林水産物を県内で消費する「地産・地消」についてご存じですか。
(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. よく知っており、意識して県産農林水産物を購入するようにしている | 3. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 2. 知っているが、買い物の際には特に意識していない | 4. 初めて聞いた言葉である |

15 「やまぐち森林づくり県民税」について

Q19-1 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。
(○は1つ)



Q19-2 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、どの事業の内容をご存じですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1. 森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の伐採） | 4. 森林環境活動サポート事業（ボランティア団体等への支援） |
| 2. 繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採） | 5. 事業の内容は知らない |
| 3. 地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援） | |

16 山口きらら博記念公園について

Q20-1 あなたは山口きらら博記念公園を利用されたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. イベントやスポーツの試合、観戦等で利用した | 3. 利用したことはない |
| 2. イベント等に関係なく利用した | 4. 公園自体を知らない |

最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別は。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答したくない |
|-------|-------|------------|

F2 あなたの年代は。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 18、19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 | |

F 3 あなたの職業は。(○は主なものに1つ)

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 農林漁業 (家族従業者を含む) | 6. 技能職・労務職 (工員、店員、消防士、運転士など) |
| 2. 商工サービス業 (家族従業者を含む)・自由業 | 7. 主婦・主夫 |
| 3. 管理職 | 8. 学生 |
| 4. 事務職 | 9. 無職 |
| 5. 専門技術職 (技師、研究者、医師・看護師、教員など) | |

F 4 あなたの家族構成は。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 1人世帯 | 4. 親と子どもと孫 (3世代) |
| 2. 夫婦のみ (1世代) | 5. その他 () |
| 3. 自分 (たち) と子ども、または親と自分 (たち) (2世代) | |

F 5 山口県にお住まいになって通算何年になりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 3年未満 | 3. 5～10年未満 | 5. 15～20年未満 |
| 2. 3～5年未満 | 4. 10～15年未満 | 6. 20年以上 |

F 6 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|----------|---------|---------|------------|---------|
| 1. 岩国市 | 5. 上関町 | 9. 下松市 | 13. 宇部市 | 17. 萩市 |
| 2. 和木町 | 6. 田布施町 | 10. 周南市 | 14. 美祢市 | 18. 長門市 |
| 3. 柳井市 | 7. 平生町 | 11. 防府市 | 15. 山陽小野田市 | 19. 阿武町 |
| 4. 周防大島町 | 8. 光市 | 12. 山口市 | 16. 下関市 | |

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) により、7月1日(月)までに投かんをお願いいたします。

◆調査にご協力をいただき、ありがとうございました◆